



☆☆ΦΨ☆☆ ☆●★ 露火 の はぐみ ☆☆

思うこと、ころみること、考えること、それは愛と喜びと在ること そして、振り向かない今

ホーム プロフィール | ブログ | フォト | リスト

ブログ

10月31日

5. 友



私たち一友達ね
 そうよ
 いつまでもつきあえるといいね
 うん
 きょうは、これでね
 じゃ、あ
 じゃ、また

6:15 | 固定リンク | コメント (0) | トラックバック (0) | この記事を引用

10月30日

4. ひと

人は皆、百代の過客にして、行き交うもの、また旅人なり。

誰の詩だったか忘れたが、

現代人、皆、百代の祖先を持っている。

悲しみも、喜びも、みんな持っている。

それを知らないだけなのだ。

そして、知らなくても生きているのだ。

人が、喜ぶことは、うれしい。

人が、悲しむことは、淋しい。

喜びには、人が集まる。

人が集まれば、楽しい。

人が集まらなければ、寂しい。

人生、楽しくすごそうではないか。

フォトアルバム



はぐみ
2 枚の写真
更新日：2005/10/30



子供達のめばえ(1-10)
10 枚の写真
更新日：2005/10/30

道連れ

リスト項目が追加されていません。

560
15枚
4

顔文字の種類がもっとあれば...と思う方、
 メッセージの絵文字をご存知ですか？

どんどん増える豊富な絵文字を
 お好きなだけ使えます
 ◆日本で幅広く支持されています

Windows Live Messenger

Windows Live™ Spaces

サインイン

スペース ☆☆☆ΦΨ☆☆ ☆●★ 露火 の

スペースの新規作成 | 最新情報 | ヘルプ

RSS の取得 このスペースを紹介 + Live.com に追加

プロフィール ブログ フォト

☆☆ΦΨ☆☆ ☆●★ 露火 の はぐくみ ★☆☆

思うこと、ころみること、考えること、それは愛と喜びと在ること

ブログ

11月6日

11 家族

人は皆、母と父を持つ
 そして、家庭の中で、育つ。
 みんな、この誕生とともに
 理想的な家庭を築こうとする。
 しかし、5年、10年、そして20年も経つと
 子は離れていったり、仕事上の困難に出会ったりして
 その家庭に、すきま風が、通うことがある。
 一人の人生において、家族の中での役割は変わる。
 いつまでも、幸せを保つには、多くの努力が居る。
 中には、孤児となり、それでも大学を出、教授になる人もいる。
 そして、自分の家庭を持つ。
 温かな家庭に、生まれたものも、貧しい家庭に生まれたものも
 人として、生きて行かねばならない。
 時に虹を見、希望に目覚める。
 一人の少女が、犬と遊んでいるとこに出会い心が晴れることがある。
 みんな、家族とともに、社会の中を歩んでいる。

9:20 | コメントの投稿 | 固定リンク | トラックバック (0) | この記事を引用

11月3日

15. 再開

僕は、子供達が好き
 やまや雲が好き
 そして、虹
 子供の笑顔
 つぶらな瞳
 この世が闇と想ったhibiは去り
 明るい大地に立つ
 情熱の再開
 人生の喜び
 みんなみんな感謝

3:48 | コメントの投稿 | 固定リンク | トラックバック (0) | この記事を引用

11月1日

4' people

Person always lives on the history of 1000 years.
 And he lives on now up and down.
 He is a traveler on time.
 Recently people have 10 relatives.
 And feel happiness and sadness.
 But, they can't know their own feeling.
 That is common .
 It is glad for ourselves to smile.
 It is sad for myself to feel lonesome of you.
 Gladness gathers people.
 Gathering of people make good feeling on them.
 IF not gather, It's sad.
 Let's enjoy ourlives with gladness.
 Don't mind our pain of heart.
 Even, sickness is a contact of human.

フォト

いたわり



SuperStock.1244-5299

全 4 枚中 1 枚目

表示速度 (遅い) | 表示速度 (速い)

コメントの投稿 | コメント (0)

他のアルバム (3)

いたわり (4)

11月8日

僕の白いはぐくみ (11-20) (10)

11月6日

子供達のめばえ (1-10) (5)

The people who are next to death
have gentle heart and treasure the time of now.
We can learn a lot of feeling from them.
If we are fine for a day,
then, "Wake up, wake up", sun wistle to us in the next morning.
Let's Let's work to get our own food of mind.
Let's move hand and feet.
Let's use our own head and heart in order to make
Good feelings of yourselves.
Let's enjoy that we are human.
One, Two, Three, Let's go toward to our future.

3:04 | コメントの投稿 | 固定リンク | トラックバック (0) | この記事を引用

10月31日

5. 友



私たち一友達ね
そうよ
いつまでもつきあえるといいね
うん
きょうは、これでね
じゃ、あ
じゃ、また

6:15 | コメントの投稿 | 固定リンク | トラックバック (0) | この記事を引用

10月30日

4. ひと

人は皆、百代の過客にして、行き交うもの、また旅人なり。

誰の詩だったか忘れたが、

現代人、皆、百代の祖先を持っている。

悲しみも、喜びも、みんな持っている。

それを知らないだけなのだ。

そして、知らなくても生きているのだ。

人が、喜ぶことは、うれしい。

人が、悲しむことは、淋しい。

喜びには、人が集まる。

人が集まれば、楽しい。

人が集まらなければ、寂しい。

人生、楽しくすごそうではないか。

何を悩むことが在ろう。

病氣も、また、人とのふれあい。

現代社会、病人を、ほっときはしない。

死という未知の世界に近い人ほど、

自分に優しく、今を大事にしようとする。

その人から学ぶことは、大きい。

元気に、一日の命を全うすれば、

また明日、太陽が起こしてくれる。

喜ぼう、日々の糧を得ることに。

さあさあ、仕事仕事

手足を動かし、頭を働かし、

いいものを作り出そう。

人であることに幸せを感じよう。

1. 2. 3 歩いていこう。

16:26 | コメントの投稿 | 固定リンク | トラックバック (0) | この記事を引用

10月28日

3. さびしさ

枯れ木のたつ湖面 山道を 歩 く
夕暮れ時 鐘の音が 成る

真夏の 昼下がり 人気 の ない通り

友を失ったとき
愛するものを失ったときは、
寂しさを超え、
悲しさになる

人の気配が、寂しさを救う

2:40 | コメントの投稿 | 固定リンク | トラックバック (0) | この記事を引用

10月22日

2. 時間

時間が過ぎる。それは、よいことだろう。
しかし、決断に、日を超してはならないだろう。
だけど、考慮は、日を越し眠らせるべきだろう。
新しいことを考えるのは容易ではない。
多くの日数と年月さえいる。
時間を待つこと、時間を追いかけること。
過ぎゆく時間を慈しむことが大事のように想う。
帰らぬ日々があり、思い出す日々がある。
時間を大切にしよう。
そこに、誕生がある。

17:07 | コメントの投稿 | 固定リンク | トラックバック (0) | この記事を引用

9. 人の営み

科学文明社会における人の営み

小さなことに対比して大きなことがある。無名な人に対して有名な人がいる。いろいろな対比的関係において、人が本当に大切にしなければいけないことは、何だろう？ それは、自分に忠実であることではなかろうか。

ある女は、着飾り化粧をし、過度な言葉を使う。ある男は、有能であろうとしたり、勇敢であろうとしたりする。虚飾が、自己を高めるであろうか。チャンスをものにする人は、時流に乗り、華やかな生活ができるかもしれない。しかし、時流が、他者により新しく作られれば、いずれ別な流れができるのである。人類の歴史は長い。歴史を重んじることは大切である。しかし、その流れを変えるものはなにであろうか。今日の発言が、明日には、陳腐になり、いつまでも、存在できるものではない。一冊の本、一枚の葉書が、人を変えることはある。一人の嫉妬ある行動が、別な人の行動を変えることがあり、社会に、ひずみができることもある。ここで、社会の変革に対する影響が、より善い方向に行くのに、科学メディアが果たす役割は、大きい。なぜなら、科学の基盤が、自己に忠実な知識体系であるからである。

少し、科学とは何かを考えよう。

科学とは、様々な真理という頂点を磨くことであり、それは、真摯な態度で、謙虚に、その頂点に向かい、忍耐強い努力により行われなければならない。その認識を多くの人が持っているであろうか？ 磨くことでなく、汚したり、ただ単に利用するだけで終わる人が多いのではなかろうか。科学メディアそれ自体磨かれ光り輝く科学でなければならない。そのことを忘れては、人の営みは、非文明社会の種しか遣り出しはしない。

巨大な科学の建造物、巨大な科学の構成物、それらは、人が磨くという行為を忘れたらもはや、巨大なゴミであり、その再利用は、磨くこと以上の努力である浄化という苦勞をしなければならない。それは、忍耐ではなく、苦痛を伴う堪忍であろう。

我々、常に自己に忠実に自制心を持ち良心的に物を視、科学を自己の中に育むことをしなければならない。現在の文明が、科学文明である限り、人の営みに以上のような考えを持続させることが必要である。

さて、科学メディアとは、何であろうか。媒体である古代から現代までの亀甲、石版、木版、活字、紙、本、テープ、ディスク、新聞、ラジオ、テレビ、パソコン、光磁気メモリー、動力としての梘子から、風と水、蒸気、木炭、そして石炭、石油、ウラン エネルギーが変換され、電気、磁気、電磁波、光、音波、物質波をつくり、これらの組み合わせられた現在の媒体、科学メディアを総合的理解し、そして、作成、利用、保守をどのような目的に意識的に営んでゆくのか大きな問題である。噂を意識するところに波が立ち、それが媒体を伝わっていく。意識が変われば、物は違って見える。大切なのは、ものの本質を理解し活用することである。氷山は、8割は水の下で見えない。しかし、その見えない部分があるため浮かんでいるのである。見えない物も、役割を果たしていることを忘れてはならない。

科学メディアによるマルチリンク社会のニューロネットワーク(巨大な生命意識体)も華麗な

構造にしていかなば、それは、リンクのない平面の社会(植物)に負けてしまう。そこに、調和や双方向のコミュニケーションがなければ、そして、一つずつの自立がなければ、美しい平安のある営みはできないのである。

6:18 | コメントの投稿 | 固定リンク | トラックバック (0) | この記事を引用

10月19日

10. 月のきれいな夜明け
 明るい月が、
 僕の影を作った。
 僕を見ていてくれる。
 ありがとう。お月さん。



5:27 | コメントの投稿 | 固定リンク | トラックバック (0) | この記事を引用 | 独り言

10月14日

1. 思想について
 今日、さまざまな思想のキーワードでリンクした。
 宇宙思想を読んだ。
 自分の考えているものとは、少し違った。
 宇宙の存在とは何かを考え、
 そこから、我々人間の立場を理解すること
 個体と全体というより
 自物と総体を考えるべきだろう。
 宇宙が存在し、人間が存在する。
 そこに何がなか、我々は、静かに考える。
 静と動、宇宙は、活動し、律動する。
 その中に、人間があり、思想する。
 宇宙は、他か自か、いな、豊態である。
 そこに、存するものすべてが、律動している。
 故に、思想する。
 自物各々に、宇宙思想の原点があり、
 それらが、交流し、豊態の具現が始まる。
 それは、時空を超えた流動である。

16:23 | コメントの投稿 | 固定リンク | トラックバック (0) | この記事を引用

プロフィール



名前:

職業: 研究員

好きなもの/好

きなこと:

野菜畑 数学 科学 哲学 囲碁 詩

一人喜びを感じつつ 為せば成る為さねば成らぬ何事も成らぬは人の為さぬなりけり

年収100万アップの極意とは!?



Windows Live Spaces

サインイン

スペース ☆☆☆☆☆ ☆●★ 露火 の

スペースの新規作成 | 最新情報 | ヘルプ

RSS の取得 このスペースを紹介 + Live.com に追加

プロフィール ブログ フォト

☆☆ΦΨ☆☆ ☆●★ 露火 の はぐくみ ☆☆

思うこと、こころみること、考えること、それは愛と喜びと在ること

ブログ

11月6日

11 家族

人は皆、母と父を持つ

そして、家庭の中で、育つ。

みんな、この誕生とともに

理想的な家庭を築こうとする。

しかし、5年、10年、そして20年も経つと

子は離れていったり、仕事上の困難に出会ったりして

その家庭に、すきま風が、通うことがある。

一人の人生において、家族の中での役割は変わる。

いつまでも、幸せを保つには、多くの努力が居る。

中には、孤児となり、それでも大学を出、教授になる人もいる。

そして、自分の家庭を持つ。

温かな家庭に、生まれたものも、貧しい家庭に生まれたものも

人として、生きて行かねばならない。

時に虹を見、希望に目覚める。

一人の少女が、犬と遊んでいるとこに出会い心が晴れることがある。

みんな、家族とともに、社会の中を歩んでいる。

9:20 | コメントの投稿 | 固定リンク | トラックバック (0) | この記事を引用

11月3日

15. 再開

僕は、子供達が好き

やまや雲が好き

そして、虹

子供の笑顔

つぶらな瞳

この世が闇と想ったhibiは去り

明るい大地に立つ

情熱の再開

人生の喜び

みんなみんな感謝

3:48 | コメントの投稿 | 固定リンク | トラックバック (0) | この記事を引用

11月1日

4' people

Person always lives on the history of 1000 years.

And he lives on now up and down.

He is a traveler on time.

Recently people have 10 relatives.

And feel happiness and sadness.

But, they can't know their own feeling.

That is common .

It is glad for ourselves to smile.

It is sad for myself to feel lonesome of you.

Gladness gathers people.

Gathering of people make good feeling on them.

If not gather, it's sad.

Let's enjoy ourlives with gladness.

Don't mind our pain of heart.

Even, sickness is a contact of human.

フォト

いたわり



SuperStock 1244-5299

全 4 枚中 1 枚目



表示速度 (速い) ·

表示速度 (速い)

コメントの投稿 | コメント (0)

他のアルバム (3)

いたわり (4)

11月8日

僕の白いはぐくみ (11-20) (10)

11月6日

子供達のめばえ (1-10) (5)

The people who are next to death

have gentle heart and treasure the time of now.

We can learn a lot of feeling from them.

If we are fine for a day,

then, "Wake up, wake up", sun wistle to us in the next morning.

Let's Let's work to get our own food of mind.

Let's move hand and feet.

Let's use our own head and heart in order to make

Good feelings of yourselves.

Let's enjoy that we are human.

One, Two, Three. Let's go toward to our future.

3:04 | コメントの投稿 | 固定リンク | トラックバック (0) | この記事を引用

10月31日

5. 友



私たち一友達ね

そうよ

いつまでもつきあえるといいね

うん

きょうは、これでね

じゃ、あ

じゃ、また

6:15 | コメントの投稿 | 固定リンク | トラックバック (0) | この記事を引用

10月30日

4. ひと

人は皆、百代の過客にして、行き交うもの、また旅人なり。

誰の詩だったか忘れたが、

現代人、皆、百代の祖先を持っている。

悲しみも、喜びも、みんな持っている。

それを知らないだけなのだ。

そして、知らなくても生きているのだ。

人が、喜ぶことは、うれしい。

人が、悲しむことは、淋しい。

喜びには、人が集まる。

人が集まれば、楽しい。

人が集まらなければ、寂しい。

人生、楽しくすごそうではないか。

何を悩むことが在ろう。

病氣も、また、人とのふれあい。

現代社会、病人を、ほっときはしない。

死という未知の世界に近い人ほど、

自分に優しく、今を大事にしようとする。

その人から学ぶことは、大きい。

元気に、一日の命を全うすれば、

また明日、太陽が起こしてくれる。

喜ぼう、日々の糧を得ることに。

さあさあ、仕事仕事

手足を動かし、頭を働かし、

いいものを作り出そう。

人であることに幸せを感じよう。

1. 2. 3 歩いていこう。

16:26 | コメントの投稿 | 固定リンク | トラックバック (0) | この記事を引用

10月28日

3. さびしさ

枯れ木のたつ湖面 山道を 歩く
夕暮れ時 鐘の音が 成る

真夏の 昼下がりに 人気 のない通り

友を失ったとき
愛するものを失ったときは、
寂しさを超え、
悲しさになる

人の気配が、寂しさを救う

2:40 | コメントの投稿 | 固定リンク | トラックバック (0) | この記事を引用

10月22日

2. 時間

時間が過ぎる。それは、よいことだろう。
しかし、決断に、日を超してはならないだろう。
だけど、考慮は、日を超し眠らせるべきだろう。
新しいことを考えるのは容易ではない。
多くの日数と年月さえいる。
時間を待つこと、時間を追いかけること。
過ぎゆく時間を慈しむことが大事のように想う。
傷らぬ日々があり、思い出す日々がある。
時間を大切にしよう。
そこに、誕生がある。

17:07 | コメントの投稿 | 固定リンク | トラックバック (0) | この記事を引用

9. 人の営み

科学文明社会における人の営み

小さなことに対比して大きなことがある。無名な人に対して有名な人がいる。いろいろな対比的関係において、人が本当に大切にしなければいけないことは、何だろう？ それは、自分に忠実であることではなかろうか。

ある女は、着飾り化粧をし、過度な言葉を使う。ある男は、有能であろうとしたり、勇敢であろうとしたりする。虚飾が、自己を高めるであろうか。チャンスをもににする人は、時流に乗り、華やかな生活ができるかもしれない。しかし、時流が、他者により新しく作られれば、いずれ別な流れができるのである。人類の歴史は長い。歴史を重んじることは大切である。しかし、その流れを変えるものはなにであろうか。今日の発言が、明日には、陳腐になり、いつまでも、存在できるものではない。一冊の本、一枚の葉書が、人を変えることはある。一人の嫉妬ある行動が、別な人の行動を変えることがあり、社会に、ひずみができることもある。ここで、社会の変革に対する影響が、より善い方向に行くのに、科学メディアが果たす役割は、大きい。なぜなら、科学の基盤が、自己に忠実な知識体系であるからである。

少し、科学とは何かを考えよう。

科学とは、様々な真理という頂点を磨くことであり、それは、真摯な態度で、謙虚に、その頂点に向かい、忍耐強い努力により行われなければならない。その認識を多くの人が持っているであろうか？ 磨くことでなく、汚したり、ただ単に利用するだけで終わる人が多いのではなかろうか。科学メディアそれ自体磨かれ光り輝く科学でなければならない。そのことを忘れては、人の営みは、非文明社会の種しか造り出しはしない。

巨大な科学の建造物、巨大な科学の構成物、それらは、人が磨くという行為を忘れたらもはや、巨大なゴミであり、その再利用は、磨くこと以上の努力である浄化という苦勞をしなければならない。それは、忍耐ではなく、苦痛を伴う堪忍であろう。

我々、常に自己に忠実に自利心を持ち良心的に物を視、科学を自己の中に育むことをしなければならない。現在の文明が、科学文明である限り、人の営みに以上のような考えを持ち続けることが必要である。

さて、科学メディアとは、何であろうか。媒体である古代から現代までの亀甲、石版、木版、活字、紙、本、テープ、ディスク、新聞、ラジオ、テレビ、パソコン、光磁気メモリー、動力としての梃子から、風と水、蒸気、木炭、そして石炭、石油、ウラン エネルギーが変換され、電気、磁気、電磁波、光、音波、物質波をつくり、これらの組み合わせられた現在の媒体、科学メディアを総合的理解し、そして、作成、利用、保守をどのような目的に意識的に営んでゆくのか大きな問題である。噂を意識するところに波が立ち、それが媒体を伝わっていく。意識が変われば、物は違って見える。大切なのは、ものの本質を理解し活用することである。氷山は、8割は水の下で見えない。しかし、その見えない部分があるため浮かんでいるのである。見えない物も、役割を果たしていることを忘れてはならない。

科学メディアによるマルチリンク社会のニューロネットワーク(巨大な生命意識体)も華麗な

構造にしていかなば、それは、リンクのない平面の社会(植物)に負けてしまう。そこに、調和や双方向のコミュニケーションがなければ、そして、一つずつの自立がなければ、美しい平安のある営みはできないのである。

6:18 | コメントの投稿 | 固定リンク | トラックバックバック (0) | この記事を引用

10月19日

10. 月のきれいな夜明け
明るい月が、
僕の影を作った。
僕を見ていてくれる。
ありがとう。お月さん。



5:27 | コメントの投稿 | 固定リンク | トラックバックバック (0) | この記事を引用 | 独り言

10月14日

1. 思想について

今日、さまざまな思想のキーワードでリンクした。

宇宙思想を読んだ。

自分の考えているものとは、少し違った。

宇宙の存在とは何かを考え、

そこから、我々人間の立場を理解すること

個体と全体というより

自物と総体を考えるべきだろう。

宇宙が存在し、人間が存在する。

そこに何が必要か、我々は、静かに考える。

静と動、宇宙は、活動し、律動する。

その中に、人間があり、思想する。

宇宙は、他か自か、いな、豊態である。

そこに、存するものすべてが、律動している。

故に、思想する。

自物各々に、宇宙思想の原点があり、

それらが、交流し、豊態の具現が始まる。

それは、時空を超えた流動である。

16:23 | コメントの投稿 | 固定リンク | トラックバックバック (0) | この記事を引用

プロフィール



名前:

職業: 研究員

好きなもの/好きなこと:

野菜畑 数学 科学 哲学 囲碁 詩

一人喜びを感じつつ 為せば成る為さねば成らぬ何事も成らぬは人の為さぬなりけり



何を悩むことが在ろう。

病気も、また、人とのふれあい。

現代社会、病人を、ほっときはしない。

死という未知の世界に近い人ほど、

自分に優しく、今を大事にしようとする。

その人から学ぶことは、大きい。

元気に、一日の命を全うすれば、

また明日、太陽が起こしてくれる。

喜ぼう、日々の糧を得ることに。

さあさあ、仕事仕事

手足を動かし、頭を働かし、

いいものを作り出そう。

人であることに幸せを感じよう。

1, 2, 3 歩いていこう。

16:26 | [固定リンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#) | [この記事引用](#)

10月28日

3. さびしさ

枯れ木のたつ湖面 山道を 歩く
夕暮れ時
鐘の音が 成る

真夏の 昼下がり 人気 であろうか？ の こととなく、
ない通り

友を失ったとき
愛するものを失ったときは、
寂しさを超え、
悲しさになる

人の気配が、寂しさを救う



2:40 | [固定リンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#) | [この記事引用](#)

10月22日

2. 時間

時間が過ぎる。それは、よいことだろう。
しかし、決断に、日を超してはならないだろう。
だけど、考慮は、日を超し眠らせるべきだろう。
新しいことを考えるのは容易ではない。
多くの日数と年月さえいる。
時間を待つこと、時間を追いかけること。
過ぎゆく時間を慈しむことが大事なように想う。
帰らぬ日々があり、思い出す日々がある。
時間を大切にしよう。
そこに、誕生がある。

17:07 | [固定リンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#) | [この記事引用](#)

9. 人の営み

科学文明社会における人の営み

小さなことに対比して大きなことがある。無名な人に対して有名な人がいる。いろいろな対比的関係において、人が本当に大切にしなければいけないことは、何だろう？ それは、自分に忠実であることではなからうか。

ある女は、着飾り化粧をし、過度な言葉を使う。ある男は、有能であろうとしたり、勇敢であろうとしたりする。虚飾が、自己を高めるであろうか。チャンスをものにする人は、時流に乗り、華やかな生活ができるかもしれない。しかし、時流が、他者により新しく作られれば、いずれ別な流れができるのである。人類の歴史は長い。歴史を重んじることは大切である。しかし、その流れを変えるものはなにであろうか。今日の発言が、明日には、陳腐になり、いつまでも、存在できるものではない。一冊の本、一枚の葉書が、人を変えることはある。一人の嫉妬ある行動が、別な人の行動を変えることがあり、社会に、ひずみができることもある。ここで、社会の変革に対する影響が、より善い方向に行くのに、科学メディアが果たす役割は、大きい。なぜなら、科学の基盤が、自己に忠実な知識体系であるからである。

少し、科学とは何かを考えよう。

科学とは、様々な真理という頂点を磨くことであり、それは、真摯な態度で、謙虚に、その頂点に向かい、忍耐強い努力により行われなければならない。その認識を多くの人が持っているであろうか？ 磨くことでなく、汚したり、ただ単に利用するだけで終わる人が多いのではなからうか。科学メディアそれ自体磨かれ光り輝く科学でなければならない。そのことを忘れては、人の営みは、非文明社会の種しか造り出しはしない。

巨大な科学の建造物、巨大な科学の構成物、それらは、人が磨くという行為を忘れたらもはや、巨大なゴミであり、その再利用は、磨くこと以上の努力である浄化という苦勞をしなければならない。それは、忍耐ではなく、苦痛を伴う堪忍であろう。

我々、常に自己に忠実に自制心を持ち良心的に物を視、科学を自己の中に育むことをしなければならない。現在の文明が、科学文明である限り、人の営みに以上のような考えを持ち続けることが必要である。

さて、科学メディアとは、何であろうか。媒体である古代から現代までの亀甲、石版、木版、活字、紙、本、テープ、ディスク、新聞、ラジオ、テレビ、パソコン、光磁気メモリー、動力としての槌子から、風と水、蒸気、木炭、そして石炭、石油、ウラン エネルギーが変換され、電気、磁気、電磁波、光、音波、物質波をつくり、これらの組み合わせられた現在の媒体、科学メディアを総合的理解し、そして、作成、利用、保守をどのような目的に意識的に営んでゆくのか大きな問題である。噂を意識するところに波が立ち、それが媒体を伝わっていく。意識が変われば、物は違って見える。大切なのは、ものの本質を理解し活用することである。氷山は、8割は水の下で見えない。しかし、その見えない部分があるため浮かんでいるのである。見えない物も、役割を果たしていることを忘れてはな

らない。

科学メディアによるマルチリンク社会のニューロネットワーク(巨大な生命意識体)も華麗な構造にしていかねば、それは、リンクのない平面の社会(植物)に負けてしまう。そこに、調和や双方向のコミュニケーションがなければ、そして、一つずつの自立がなければ、美しい平安のある営みはできないのである。

6:18 | [固定リンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#) | [この記事引用](#)

10月20日

6. 夕焼け雲が、真っ赤だね

空が、空だけでは、味気ない
☆があり、月があり、雲があり
時に、風もある。
そして、小鳥が飛び、
飛行機が飛び、
トンボや、蝶が飛ぶ。
秋も深まれば、落ち葉が舞う。
空って、すばらしいな。
今日も、明るい太陽が、在った。

18:04 | [固定リンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#) | [この記事引用](#)

10月19日

10. 月のきれいな夜明け

明るい月が、
僕の影を作った。
僕を見ていてくれる。
ありがとう。お月さん。



5:27 | [固定リンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#) | [この記事引用](#) | [独り言](#)

10月14日

7. 思想について

今日、さまざまな思想のキーワードでリンクした。
宇宙思想を読んだ。
自分の考えているものとは、少し違った。
宇宙の存在とは何かを考え、
そこから、我々人間の立場を理解すること
個体と全体というより

自物と総体を考えるべきだろう。
 宇宙が存在し、人間が存在する。
 そこに何がなか、我々は、静かに考える。
 静と動、宇宙は、活動し、律動する。
 その中に、人間があり、思想する。
 宇宙は、他か自か、いな、豊態である。
 そこに、存するものすべてが、律動している。
 故に、思想する。
 自物各々に、宇宙思想の原点があり、
 それらが、交流し、豊態の具現が始まる。
 それは、時空を超えた流動である。

16:23 | 固定リンク | コメント (0) | トラックバック (0) | この記事を引用

2. 僕らは何かを忘れてる

現代文明の豊かさが
 小さな喜びを持つことの大切さを
 忘れさせているようだ。
 ここに、リンクした情報
 ただではできない。
 しかし、いとも簡単にリンクでき
 知ったかぶりができる。
 一枚の絵
 一行の文
 もっと大切にしたいものだ。
 私も、リンクだけでなく
 自己啓発にそれらを利用したい。
 あまりにも多いが。

14:07 | 固定リンク | コメント (0) | トラックバック (0) | この記事を引用

1. 秋雨にぬれる薔薇

きみに捧げるこの薔薇

小雨に濡れる相合い傘

いつか二人の出会い始まる



8:26 | 固定リンク | コメント (0) | トラックバック (0) | この記事を引用

プロフィール





名前： 博孝
 職業： 研究員
 住所： 日本 山口県

ひとりぽっちに愛をください 希思 作成中

プロフィールの詳細の表示



着うた+着メロの総合サイト「魔法のメロらんど」に今すぐアクセス

©2005 Microsoft. 使用条件 プライバシー

ご意見ご感想 倫理規定 迷惑行

*Let's enjoy that we are human
 One two three, let's go.*

Sickness is even a contact of human

Modern people help sick person.

*The people who are next to death,
 have gentle ~~heart~~^{heart} and treasure the time of now.*

We can learn a lot of feeling from them

If we are fine for a day, then

San wake up us in ^{the} next morning

Let's Let's work.

Let's more had and fool.

make a good thing to